

3月は、卒業、友達との別れ、担任との別れ、教科担任や顧問との別れ、教室との別れなど、様々な別れの場面があります。子どもが最後の授業をどのような形で迎えるのか、共に過ごしてきた仲間への感謝の気持ちをどのように伝え合うのかなど、別れを大切にしたり、自分の成長を実感できるようにしたりして新年度への新たな一歩につなげましょう。



<小学校>

最後の授業に思い出を刻む！

3月は、別れの時。クラス替えや卒業を迎え、新しい生活に不安を感じている子どもたちもいるはずです。4月からの生活への励みになるような最後の授業を考えてみましょう。

写真や映像を使った振り返り

楽しかった思い出だけでなく、途中で起きたトラブルやそれを乗り越えてきた過程を振り返ることも、次への自信につながります。



「私にとって、〇〇とは…」



クラスで取り組んできた活動やクラスの仲間が、自分にとってどんな存在になっていたのか、言葉にしてみることで意味あるものとなり、自分の力になっていきます。

4月から新しい仲間とも、素敵なクラスをつくっていこうという前向きな気持ちをもてるよう、思い出を力にかえていけるような最後の授業をしたいですね。



自分で考える「春休みの過ごし方」

気持ちがウキウキしがちな春休みは、例年事故や事件に巻き込まれやすい休みとなっています。

4月に気持ちのよいスタートを切ることができるよう、4月の自分をイメージし、そのためには、自分はどのようなことに気を付けて過ごすか考える時間をとりましょう。

春休み、どんなことに気を付けたらよいか



【学習面で】

自信をもって4月を迎えるには、どうしたらよいか？

【生活面で】

どのような生活をすれば、4月から気持ちのよいスタートを切れるかな？

子どもたちが考えたことは、お便り等で家庭にも知らせ、子どもと保護者とで共有し、確認しておけるとよいですね。

<中学校>

別れの演出

年度末に差し掛かり教室の掲示物を少しずつ片付け始めるこの時期。これまでに掲示していた学級目標、行事の写真、賞状など、いつ、どのように片付けるかを考えながらも、ちょっとした演出をしてみましょう。

♪ 音楽会の際の学級合唱や学年合唱の曲をBGMとして流すことで雰囲気が高めることができます。

📷 クラスマッチ等行事の際の写真とともに賞状をクラス全員で見合うことで、一年の活動を具体的に振り返ることができます。

🌸 学級目標や学級旗をとりはずしたときに、それを見ながら心に残ったエピソードを語り合うことで、学級の成長や友のよさを再発見することができます。

大切な節目を成長のチャンスに！

子どもたちにとって、「3月の自分」と「4月の自分」とでは、意識やあり方が大きく異なります。上級生となり後輩ができる（増える）この機会を利用して、個の確立と成長を促しましょう！

個の確立のため、「目標」を決めるなど、準備を3月から始めましょう！

・「こんな先輩になりたい！」についてしっかりと考え、目標達成のための具体的な方策を立てる時間をつくりましょう。

子どもたちの「成長」を応援するために！

○支援を必要とする子どもへの準備

教員間の情報共有の他、SC、SSWからの情報も活用し、子どもの様子を再度捉えましょう。

○生徒指導と連携した取組

子どもの様子をもとに生徒指導と連携を図り、学校体制で対応できるようにしましょう。

参考)「不登校への対応の手引き」H30改訂版